

彩小ふれあいだより

平成 22 年 9 月 1 日

広島市立彩が丘小学校

校長 竹 川 智 子

第 13 回彩が丘トライアスロン大会



8月29日(日)第13回彩が丘トライアスロン大会が開催されました。競技は小学校低・中・高の部と一般の部に分かれています。学校の25m プールを50m～200m 泳ぎ、学校上の遊休地を自転車で1500m～6000m 走り、最後に学校のトラックや団地内を700m～4000mのランニングをします。まさに鉄人レースです。今年は、大会前から、ランニングをしたり、自転車で回ってタイムをはかったりする姿がみられました。トライアスロン大会に参加することが夏休みの目標となっているそうです。

「彩が丘の夏の風物詩になった!」と閉会の挨拶でありました。平成10年、本大会は彩が丘に発足しました。「トライアスロンをとおして、スポーツの楽しさ苦しさ両面を体験し大きな充実感を味わってほしい」と当時の教頭でおられた川本正昭先生(元三入東小学校校長)が町内の役員会で提案されました。今年もお孫さんと共に参加されました。発足当時からずっと運営にかかわっておられる役員さんが何人もおられるそうです。町内の各団体の皆さんが分担して一致協力され運営しておられます。このような大会が実施できる彩が丘は素晴らしいです。苦しくても最後までがんばりぬいた子どもたちは大変立派でした。その頑張りがきっと様々なことに必ず生きてくると信じます。地域の活動に積極的に参加する。子どもたちの健全育成に欠かせないことです。秋には三和中校区ふれあい推進協「窓が山に登ろう」があります。ふるって参加お願いします。

